かどうぜきかいらんばん

可動堰回覧板

平成17年8月1日号 (NO. 1)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

平成15年度に事業着手し、今年度から本格工事に入る予定の大河津可動堰改築について、『可動堰回覧板』をつくり、みなさんにさまざまな情報をお伝えしていきます。
創刊号となる今回は、新しい可動堰をどこにつくるのかご紹介します。

新しい可動堰は

越後平野を洪水から守ってきた大河津分水は、大正11年に通水してから今年で83年。
先代の自在堰に代わり幾多の洪水を受けてきた可動堰も昭和6年の完成から74年が経ち老朽化が著しいため、平成15年度から可動堰の改築事業に着手し、平成15・16年は測量や地質、環境などの現地調査、詳細な設計を実施してきました。
新しい可動堰は、現在の可動堰を機能させながら、コストを軽減し、安全に工事ができるようにするため、現在の可動堰・固定堰よりも下流の高水敷となっている箇所に設置することとしました。

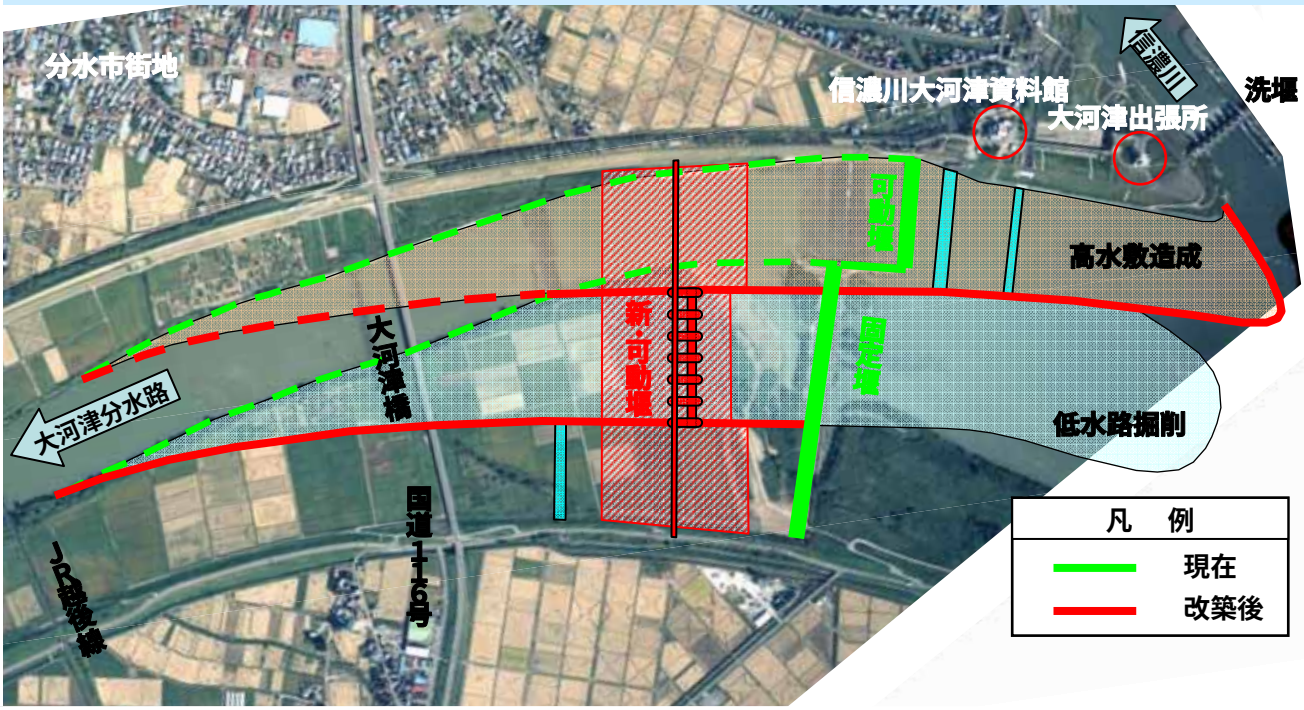
可動堰を新しくすることにより

- より安全性の高い施設に生まれかわる
- 右岸側堤防に直接当たっていた洪水が、分水路の中央をスムーズに流れる
- 可動堰地点の河床を下げることで、流下能力が向上する

以上のような効果が発揮されます。

大河津可動堰改築事業は、おおむね10年を目処に完成をめざしています。

次回号は可動堰の改築が急がれる理由についてです。



可動堰完成イメージ

完成イメージパース（遠景：大河津出張所地点より）

川幅	約７００m
堰幅	約２９０m
ゲート数	６門（ラジアルゲート）
ゲート幅	約　４０m（１門当たり）

完成イメージパース（近景：右岸高水敷より）

工事の紹介

今年度から本格工事に入る大河津可動堰の改築ですが、昨年度から先行的に掘削及び護岸の工事を実施しています。
現在、大河津橋下流で『大河津可動堰下流河道掘削工事（請負者：寺泊産業・相村組ＪＶ）』を実施しています。
８月は高水敷の掘削を行います。掘削した土砂は分水町横田地先に運搬し、堤防の盛土として利用します。

左岸高水敷掘削・運搬状況

昨年度の護岸工事の完成状況

堤防盛土状況
（信濃川下流・分水町横田地先）

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ　Tel 0256-97-2121（建設監督官在所）
大河津出張所　：大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官（可動堰改築担当）：大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所
http://www.hrr.go.jp/shinano/

可動堰情報館
http://kadouzeki.jp

信濃川大河津資料館
http://ohkouzu.jp